



学校だより

しもかまた

令和6年5月31日第3号
江戸川区立下鎌田小学校
校長 黒澤 義和

元気で、さわやかなあいさつをしよう

校長 黒澤義和

梅雨入りが気になるころとなりました。先月20日(月)~24日(金)の個人面談の際には、ご多用の中来校いただき、短い時間ではありましたが、それぞれのお子様の学校と家庭での様子について貴重な情報交換の機会となりましたことに、お礼申し上げます。私たち教職員一同、児童理解を深め、子供たち一人一人が個性を發揮するとともに、認め合いながら誰もが楽しい学校生活が送れるようにするという使命感をさらに高めていく所存でおります。

4月10日の保護者会全体会で、令和6年度の本校の教育について説明させていただきました。その中に、生活指導の重点を「すすんであいさつする」とし、年度末までに、児童自己評価:「よくできた」80%以上、保護者評価:「よくできた」50%以上(昨年度11%)を目標に掲げ、様々な取組を通して、その達成を目指す。という話をしました。そのことについて、これまでの取組について、紹介いたします。

1 全校朝会校長講話

4月15日(月)「元気で、さわやかなあいさつをしよう」

始業式で生活指導主任の伊藤友貴先生から、今年度はすすんであいさつができるようにすることを重点にします。というお話がありました。そして、先週週目標も「元気でさわやかにあいさつをしましょう。」でした。あいさつはどうしてするのでしょうか。あいさつの意味は、心を開き、相手の存在に気付くというのだそうです。そのあいさつには、5つのパワーがあるそうです。1つめ、「相手を良い気持ちにする。」あいさつされるとうれしくて気持ちが良いですね。2つめ、「緊張をほぐせる。」緊張していても、あいさつされるとホッとしませんか?自分も声を出すことで緊張が解けます。3つめは、「感謝を伝えられる。」ありがとうございます。は、相手に直接感謝を伝える言葉です。4つめは、「相手を認めていることを伝えることができる。」私は、あなたを大切にしているという気持ちを伝えることができます。5つめは、「仲良くなるきっかけになる。」あいさつは、仲良くなるための最初の一步になります。あいさつをし合うことで相手と話すことに繋がるようになります。あいさつには、こんな大事な力があるので、みんなにできるようになってほしいのです。では、最後にさわやかなあいさつができるようになるコツを3つ考えたので、教えます。「笑顔で」、「相手の目を見て」、「聞こえる声で」校長先生が考えたのはこの3つです。他にもあると思うのでみなさんも考えてみてください。「笑顔で、相手の目を見て、聞こえる声で」そして自分で考えたコツで、[さわやかなあいさつができる下鎌田小学校の子供たち]を学校の伝統にしましょう。

4月22日(月)「元気で、さわやかなあいさつをしよう2」

先週1週間、元気でさわやかなあいさつができましたか。校長先生は、自分のあいさつの仕方について、3つのコツのうち、「相手の目を見て」「聞こえる声で」はよくできたが、「笑顔で」については、もう少しだったと振り返りました。みなさんにも3つのコツについて振り返ってみましょう。校長先生は、みなさんのあいさつの仕方は、以前よりも元気で、さわやかなあいさつができる「あいさつ名人」が増えてきていると感じます。みんなが「あいさつ名人」となって、下鎌田小学校の子供たちが仲良しになれるよう「元気で、さわやかなあいさつ」を続けていきましょう。

2 校内掲示

児童が常に意識できるように校内の数か所に、「元気で、さわやかなあいさつをしよう」を掲示

3 生活指導の週目標としての取組

4月8日~12日の週目標を「元気で、さわやかなあいさつをしよう」にして取り組む。

下鎌田小学校の1日は、「Are you ready? Yeah!」♪ちよっと勇気がいるけれど 思い切って声を出してみよう あいさつは魔法の力 ラ~ラララ~ラ~ララ~♪という「あいさつは魔法の力」の歌が流れ始まります。今後も教職員が積極的に児童にあいさつする。さらなるあいさつ運動を工夫する等、すすんであいさつする児童の育成に取り組んでまいります。保護者の皆様には、改めてあいさつの教育効果をご理解いただき、それぞれの家庭で様々な形で実践いただき、成果や課題を互いに共有できたらと思います。